

令和 2 年度

推薦・社会人入試 出題意図

小論文

(120 分)

第1問 次の文章は、数学者の広中平祐氏が「学ぶことと人間の知恵」について書いたものである。これを読んで後の問いに答えなさい。

問1 下線部（ア）にある「それ」とは何を指すか。本文から30字以内で抜き出しなさい。

問2 下線部（イ）について、著者は人間の脳のみが有する「ゆとり」とは、どのようなものであると考えているか。70字以内でまとめなさい。

問3 本文で著者は「知恵」を身につけることの大切さについて述べている。これについて、あなたの考えを400字以内で書きなさい。

出題意図：課題文では、人間の頭脳について、特徴や長所・短所をコンピュータと比較することにより述べている。また、「ゆとり」という表現を用いて、人間の知恵について考察している。この文章を読み解くことで、「知恵とは何か」や「人間の頭脳とコンピュータとの違い」に関する読解力や思考力、表現力を問うた。

第2問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

問1 下線部について、著者はどのような人たちを「災害弱者」とみなしているか。30字以内でまとめなさい。

問2 インクルーシブ防災の実践に向けて、あなたはどのようなことに取り組みたいですか。著者の主張を参考にして、あなたの考えを400字以内で書きなさい。

出題意図：自然災害が多いといわれる日本においては、包摂的で誰も取り残さない防災が求められる。このために我々は、高齢者や障害者といった「災害弱者」に対する十分な支援について考える必要がある。設問では、この分野に対する興味関心を示してもらい、論理的な思考力、および文章表現力を問うた。